

令和3年5月28日

浜田市議会議長 川神 裕司 様

福祉環境委員会

委員長 柳楽 真智子



委員派遣報告書

下記のとおり、派遣しましたので、報告します。

記

- 1 期 間 令和3年5月12日(水) 午後1時30分～3時30分
- 2 場所及び目的
鹿足郡吉賀町 子育て支援に関する取組について
- 3 精算額 1人当たり1,100円(現地への移動は公用車を手配)
- 4 派遣委員名
柳楽真智子^印 村武まゆみ^印 沖田 真治^印 小川 稔宏^印
岡本 正友^印 佐々木 豊治^印 田畑 敬二^印 澁谷 幹雄^印
- 5 調査の概要
別紙のとおり

福祉環境委員会行政視察報告書

◎視察日 令和3年5月12日(水) 13時30分から15時30分

◎視察先 島根県吉賀町役場

◎説明者 健康福祉課長 永田英樹、課長補佐 渡邊栄治
健康福祉係長 榎木佑都

○視察項目

子育て支援に関する取組について

○視察内容

(1)子ども医療費全額助成・・・対象人口

(2)保育料完全無料・・・対象人口・予算額・財源

(3)給食費完全無料・・・対象人口・予算相当額・財源

【施策の目的】

子育て世代の負担軽減と、人口減少率の軽減を目指し、当時の町長の「子どもは、国の宝、町の宝」という視点で、子どもの健やかな成長が保障できる体制の整備を実現したいとの思いから、子育て支援施策がスタートした。

また、出産後の早い時期から就労する人が多いことから、就労と育児の両立に対する支援が必要だと考えた。

【無償化に至る経過】

・平成26年4月

町立及び認可保育所保育料の第2子以降を無償化

放課後児童クラブ利用料の第2子以降を無償化

小中学校(小5校・中4校)給食費半額補助

子ども等医療費の高校生まで無償化(従前は中学生まで)

・平成27年4月

町立及び認可保育所保育料の完全無償化

放課後児童クラブ利用料の完全無料化

小中学校(小5校・中4校)給食費の全額補助

・令和元年10月 幼児教育・保育無償化に伴う副食費の無償化

★その他の主な支援策

・バースディ・ブックプレゼント事業(1・3・5歳児の誕生日に絵本贈呈)

・新入学お祝い事業(小中学校への入学の際の制服費等の助成)

- ・小中学校通学費助成(バス通学生への助成)
- ・小中学校修学旅行費助成 等

★保育料無償化による効果

保育所の年間平均利用児童数

平成 26 年度 173 人

平成 27 年度 163 人 (保育料完全無償化実施)

令和 2 年度 218 人

〔充当財源〕

①H26 年から H32 年までは、過疎債ソフト事業により起債借入し基金積立を行う。

②H28 から H46 まで、小水力発電事業会計からの操出金を活用し基金積立を行う。当年度の保育料及び児童クラブ利用料、小中学校の給食費については R7 年度まで充当可能となっている。

〔課題〕

子どもの増加に伴い、保育士確保や放課後児童クラブの預かり時間の延長、支援員の確保や質の向上といった課題も出てきている。児童クラブについては、利用が増えていることから施設が手狭となっている。

質問 子育て支援策の効果と検証について

答え 出生数は横ばいとなっており、人口減少率の軽減効果が表れていると考える。産後のサポート体制や教育環境の整備、子育てしやすい環境の整備が影響していると感じている。

質問 子育て世代の声をどのように聴取しているか。

答え 町長が待っていても声は寄せられて来ないことから、旧町村単位または公民館単位で座談会をやっていこうということになり、今年から取組みを開始している。行政からの説明は 30 分程度にして、住民の声をしっかり聴くようにしている。

質問 新たな子育て支援策について

答え ニーズ調査により安心安全な児童公園を整備してほしいとの声があった。ただ整備するのではなく、活用の仕方も検討する。

【所 感】

吉賀町では子育て支援のサービス充実が、保護者に安心感を与え、第 3 子・第 4 子を含む出生数の増加に繋がっているとの説明を受けました。また、町長や職

員が地域に出向いて意見を聴取する場を設けられていることも、良い取り組みだと思えます。

浜田市議会においては、これまで一般質問で、給食費の完全無料化・保育料の完全無料化・18歳までの医療費の完全無料化等の質問がありましたが、前向きな答弁はありません。吉賀町との人口規模・予算規模等の違いがありますが、今回の視察を受けて、浜田市としても子育て世帯の負担軽減と、真に必要とされている支援を探り、効果の見える子育て支援策に取り組むべきと感じました。（一部無料化を含む）

